

HW4

- パターン7** (1) (例) Because they wanted the souls to return to their bodies.
(2) (例) They cover their mouths with their hands.

パターン8 イ

パターン7 疑問詞で始まる疑問文に答えるときは、疑問詞の意味から問われている内容を把握する。when「時」、where「場所」、who「人」、what「何」、how「方法」、why「理由」

(1)質問は「なぜ人々は、くしゃみをした人に対して『お大事に』と言ったのですか」という意味。第3～4行目参照。

(2)質問は「一部の日本人はくしゃみをするときに、何をしますか」という意味。第6～7行目参照。

全訳 私たちはアメリカでこの状況をよく見かけます。昔、人々はくしゃみをする^{たましい}と、魂が自分の体から飛び出すと考えていました。彼らは魂が体に戻ってくることを望んだので、「(くしゃみをした人に対して)お大事に」と言いました。今日では私たちはそう考えませんが、今でも「お大事に」と言います。

アメリカ人は口をおおうものを持っていないとき、たいていこのようにくしゃみをします。日本では、手で口をおおう人もいます。おもしろくありませんか？

パターン8 ア「サナエは2か月前に学校の合唱部の一員になりました」第1～2行目参照。サナエは2年間ずっと合唱部の部員なので、本文と一致しない。

イ「合唱部の部員たちは、この前の土曜日に小学校でコンサートを開きました」第3～4行目の内容と合う。

ウ「ナオキはコンサートのあと、サナエに彼女のお気に入りの歌を歌ってくれないかと頼みました」第6～7行目参照。サナエがナオキに頼んだので、本文と一致しない。

エ「サナエは彼女の祖母に教えてもらったお気に入りの歌についてナオキに話しました」第8～9行目参照。祖母について話したのはナオキなので、本文と一致しない。

全訳 サナエは高校生です。彼女は2年間ずっと学校の合唱部の部員です。彼女は歌うことを楽しんでます。合唱部には13人の生徒たちがいます。彼らは彼らの観客のためにじょうずに歌うため、ほぼ毎日放課後にとっても熱心に練習しています。この前の土曜日に、彼らはコンサートを開くために、小学校を訪れました。コンサートのあと、子どもたちの1人がサナエに「ぼくはナオキです。あなたたちの歌をとっても楽しみました。ありがとう」と言いました。彼女は彼に「それを聞いてうれしいわ。あなたは歌を歌うことが好き？」と言いました。彼は「はい」と言いました。彼女は「あなたのお気に入りの歌を歌ってくれない？」と言いました。彼は「もちろん」と言いました。それから彼は彼のお気に入りの歌を歌い始めました。彼が歌い終わると、彼女は「すばらしかったわ。だれがあなたにその歌を教えてくれたの？」と言いました。彼は「ぼくの祖母です。彼女に会うと、ぼくたちはいつもいっしょに歌を歌います」と言いました。彼女は「なるほど。あなたには、すてきなおばあちゃんがいるのね」と言いました。